

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	1	Ⅱ	算数	Ⅱ	小学部1段階

目標	領域	数量の基礎	数と計算	図形	測定
	知識及び技能	身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	ものの有無や3までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わることについての技能を身に付けるようにする。	身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わることについての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心をもって関わる力を養う。	身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする力を養う。	身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。	身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容・教材教具等	教材教具等	学習指導要領に示されている指導内容
1学期	「ある・ない①②」 (0, 5)	・具体物のある、ないがわかる	・給食配膳用お盆 ・おかず(模型) ・牛乳(模型) 『さんすう☆』P5～7	A 数量の基礎 <u>ア(ア)㊟</u> <u>(イ)㊟</u>
	「どこにかくれたかな」 (0, 5)	・隠されたものが存在していることがわかる	・児童の好きな玩具 『さんすう☆』P8～13	A 数量の基礎 <u>ア(ア)㊟㊟</u> <u>(イ)㊟</u>
	「どこからでるか」 (0, 5)	・隠されたものがどこから出てくるかわかる	・玩具の車 ・玩具のトンネル 『さんすう☆』P14～15	A 数量の基礎 <u>ア(ア)㊟㊟</u> <u>(イ)㊟</u>
	「○○くんいるかな」 (0, 5)	・指定された人やものがわかる	・児童、教師の写真カード ・朝の会カード ・数字カード 『さんすう☆』P16～17	A 数量の基礎 <u>ア(ア)㊟</u> <u>(イ)㊟</u>
	「おなじマークはどこでしょう」(1)	・特別なものを他と見分ける	・ベアの食べ物カード ・ベアの果物カード 『さんすう☆』P18	A 数量の基礎 <u>イ(ア)㊟</u> <u>(イ)㊟</u>
	「じぶんのマークはどれでしょう」(1)	・自分のマークを見分ける	・食べ物カード ・果物カード ・児童の写真カード 『さんすう☆』P19	A 数量の基礎 <u>イ(ア)㊟</u> <u>(イ)㊟</u>
	「みんなにくばりましょう」(1)	・一人に一つのものを配る	・給食配膳用お盆 ・ランチョンマット ・おかず(模型) ・牛乳(模型) 『さんすう☆』P20～21	A 数量の基礎 <u>イ(ア)㊟</u> <u>(イ)㊟</u>
	「あわせましょう①」 (1)	『さんすう☆』P22～23 ・分割された絵カードを完成させる	・切り離された絵カード(2対で完成するもの) 『さんすう☆』P22～23	A 数量の基礎 <u>イ(ア)㊟</u> <u>(イ)㊟</u>
	「なかまをあつめましょう」(1)	・指定された属性の中で仲間を集める	・冷蔵庫の絵カード ・果物や玩具、文房具などのカード ・動物園の絵カード ・動物や家電、洋服などのカード 『さんすう☆』P26	A 数量の基礎 <u>イ(ア)㊟</u> <u>(イ)㊟</u>

	「いち・に・たくさん」 (1)	・たくさんの量があることを体感する ・「1個」「2個」「たくさん」の表現がわかる	・ビニル袋 ・飴玉 『さんすう☆』P30～31	B 数と計算ア <u>ア</u> ① <u>イ</u> ②
	「いち・に・さん・し・ご」 (1)	・5つまでの数を唱える(外遊び プランコや砂場)	・遊具(プランコ・砂場) 『さんすう☆』P32～33	B 数と計算ア <u>ア</u> ⑦ <u>イ</u> ②
	「とりましょう」(1)	・具体物を配ることをとおして、「3」までの数の具体物を数える	・果物やジュース(玩具でも) ・お皿、トレイ 『さんすう☆』P34～35	B 数と計算ア <u>ア</u> ⑤ <u>イ</u> ②
	「まーくにあわせてなら べましょう」(1)	・ボーリングのピンをマークを手掛かりにして、必要な数だけ置く・配る	ボーリングセット 『さんすう☆』P36	B 数と計算ア <u>ア</u> ④ <u>イ</u> ②
2 学 期	ぜんぶ「さん」(1)	・りんごの「3」積み木の「3」など様々な「3」に気づき、「3」は変化しないことに気づく	・りんご ・おはじき 『さんすう☆』P44～45	B 数と計算ア <u>ア</u> ④ <u>イ</u> ② C 図形ア <u>ア</u> ⑦① <u>イ</u> ②
	おもちゃをみつけましょ う (1)	・様々な玩具の形に気づく	・大型積み木 ・乗り物 『さんすう☆』P46～47	C 図形ア <u>ア</u> ⑦① <u>イ</u> ②
	かたちをつくりましょ (1)	・同じ形に気づく	・粘土 ・型抜き 『さんすう☆』P48～49	C 図形ア <u>ア</u> ① <u>イ</u> ②
	おなじかたちをみつけま しょう(1)	・形の違いに気づく	・色板教材 『さんすう☆』P54～56	C 図形ア <u>ア</u> ⑦ <u>イ</u> ①
	おなじかたちをえらびま しょう(1)	・形が同じものを見つける	・型はめ教材 『さんすう☆』P58～61	C 図形ア <u>ア</u> ⑦ <u>イ</u> ①
	にているものをみつけま しょう(2)	・「似ている」ことがわかる	・ボール ・帽子 『さんすう☆』P62～63	C 図形ア <u>ア</u> ⑤ <u>イ</u> ①
	そろえましょう(2)	・左右でそろえる。一対でそろえる	・手袋、靴、靴下 『さんすう☆』P64～65	C 図形ア <u>ア</u> ④ <u>イ</u> ②
	おなじかたちをあつめま しょう(2)	・形に気づく。形をとらえる。同じ形とわかる。	・積み木(三角柱・四角柱) 『さんすう☆』P66～69	C 図形ア <u>ア</u> ⑦ <u>イ</u> ②
	おなじ・ちがう(2)	・「同じ」「違う」で区別する	・パン 『さんすう☆』P70～71	D 測定ア <u>ア</u> ⑦ <u>イ</u> ②
3 学 期	おおきい・ちいさい① (3)	・「大きさ」を知る 「大きい」「小さい」で表現する ・「多い」「少ない」を決める、区別する、用いる ・「長さ」に注目する、基準に対して「長い」か「短い」かを区別する	・ボール 『さんすう☆』P72～73 『さんすう☆』P76～77 『さんすう☆』P80～81	D 測定ア <u>ア</u> ⑦① <u>イ</u> ②
	おおい・すくない① (2))	・かさ等に注目して、「多い」「少ない」を決める ・かさ等の異なる量を「多い」「少ない」で区別する ・「多い」「少ない」を表現する ・具体物の「長さ」に注目する	・ペットボトル入り飲料 ・玉入れ ・給食配膳『さんすう☆』P76～P77	D 測定ア <u>ア</u> ⑦① <u>イ</u> ②
	ながい・みじかい(2)	・具体物の「長さ」に注目する ・基準に対して「同じ」「同じでない」を区別する	『さんすう☆』P80 ・ボーリングセット	D 測定ア <u>ア</u> ⑦① <u>イ</u> ②
	おかね(3)	・お金を知る ・お金の種類を知る ・買い物ごっこをする	・お金カード(模型) ・買い物ごっこ用玩具	B 数と計算ア <u>ア</u> ④ ア <u>イ</u> ②

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	2	Ⅱ	算数	35	小学部1段階

目 標	領域	数量の基礎	数と計算	図形	測定
	知識及び技能	身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	ものの有無や3までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わることについての技能を身に付けるようにする。	身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わることについての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心をもって関わる力を養う。	身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする力を養う。	身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。	身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容	教材教具等	学習指導要領に示されている指導内容
1学期	ある・ない③	・具体物のある、ないがわかる	『さんすう☆』P28 ・玩具 ・皿 ・箱	B 数と計算ア(ア)㊟ ア(イ)㊟
	どこにかくれたかな	隠されたものが存在していることがわかる	『さんすう☆』P8～13 ・玩具	A 数量の基礎ア(ア)㊟㊰ ア(イ)㊟
	どこからでるかな	・指定されたものがどこから出てくるかわかる	『さんすう☆』P14～15 ・玩具 ・玩具のトンネル	A 数量の基礎ア(ア)㊟㊰ ア(イ)㊟
	〇〇さんいるかな	・指定された人やものがわかる	『さんすう☆』P16～17 ・児童・教師の写真カード ・朝の会カード ・数字カード	A 数量の基礎ア(ア)㊰ ア(イ)㊟
	おなじマークはどれでしょう	・特別なものを他と見分ける	『さんすう☆』P18 ・ペアの食べ物カード ・ペアの果物カード	A 数量の基礎イ(ア)㊟ イ(イ)㊟
	じぶんのマークはどれでしょう	・自分のマークを見分ける	『さんすう☆』P19 ・食べ物・果物カード ・顔写真カード	A 数量の基礎イ(ア)㊟ イ(イ)㊟
	みんなにくばりましょう	・一人に一つのものを配る	『さんすう☆』P20～21 ・給食配膳盆 ・マット ・おかず(模型) ・牛乳(模型)	A 数量の基礎イ(ア)㊟ イ(イ)㊟
	あわせましょう②	・分割された絵カードを完成させる	『さんすう☆』P24 ・絵カード(3枚一組、4枚一組)	A 数量の基礎イ(ア)㊰ イ(イ)㊟
	なかまをあつめましょう	・指定された属性の中で仲間を集める	『さんすう☆』P26 ・冷蔵庫に入っている物(絵カード) ・動物園にいるもの(絵カード) ・日常生活の中にあるもの(絵カード)	A 数量の基礎イ(ア)㊰ イ(イ)㊟
	いち・に・たくさん	・たくさんの量があることを体感する ・「1個」「2個」「たくさん」の表現がわかる	・同じ種類のボールや玩具	B 数と計算ア(ア)㊱ ア(イ)㊟
	いち・に・さん・し・ご	『さんすう☆』P32～33 ・5つまでの数を数唱する	『さんすう☆』P30～31 ・玩具 ・数唱プリント	B 数と計算ア(ア)㊱ ア(イ)㊟
	とりましょう	・具体物をとることを通して、「3」までの数の具体物を数える	『さんすう☆』P34～35 ・同じ玩具や具体物	B 数と計算ア(ア)㊴ ア(イ)㊟

	マークにあわせてならべましょう	・ボーリングのピンを、マークを手掛かりにして必要な数だけ置く・配る	・『さんすう☆』P36 ボーリングセット	B 数と計算ア(ア)㊸ ア(イ)㊹
2 学 期	ぜんぶ「さん」	・りんごの「3」積み木の「3」など様々な「3」に気づき、「3」は変化しないことに気づく	『さんすう☆』P44～45 ・玩具やおはじき	B 数と計算ア(ア)㊹ ア(イ)㊹
	おもちゃをみつけましょ う	・様々な玩具の形に気づく	『さんすう☆』P46～47 ・玩具 ・かごなど	C 図形ア(ア)㊹㊺ ア(イ)㊹
	かたちをあわせましょ う	・同じ形に気づく	『さんすう☆』P48～49 ・型抜き玩具	C 図形ア(ア)㊺ ア(イ)㊹
	おなじかたちをみつけ ましょ う	・形の違いに気づく	『さんすう☆』P54～56 ・○▽□大小様々な形カード	C 図形ア(ア)㊻ ア(イ)㊺
	おなじかたちをえらび ましょ う	・形が同じものを見つける	『さんすう☆』P58～61 ・台紙とその型抜きされた玩具	C 図形ア(ア)㊻ ア(イ)㊺
	にているものをえらびま しょ う	・「似ている」ことがわかる	『さんすう☆』P62～63 ・様々な○△□の玩具やブロック	C 図形ア(ア)㊼ ア(イ)㊺
	そろえましょ う	・左右でそろえる。 ・一対でそろえる	『さんすう☆』P64～65 ・左右対称となる生活用品や衣類	C 図形ア(ア)㊼ ア(イ)㊻
	おなじかたちをあつめ ましょ う	・形に気づく。形をとらえる。同じ形とわかる。	『さんすう☆』P66～69 ・2種類の仕分け箱 ・○▽□ブロック	C 図形ア(ア)㊽ ア(イ)㊻
	おなじ・ちがう	・「同じ」「違う」で区別する	『さんすう☆』P70～71 ・玩具 ・プリント	D 測定ア(ア)㊿ イ(イ)㊹
3 学 期	おおきい・ちいさい㊼	・「大きさ」を知る。「大きい」「小さい」で表現する ・「多い」「少ない」を決める、区別する、用いる	『さんすう☆』P74～75 ・形状が変化する玩具(砂・粘土など)	D 測定ア(ア)㊿㊺ イ(イ)㊹
	おおい・すくない㊼ ながい・みじかい	・かさ等に注目して「多い」「少ない」を決める ・かさ等の異なる量を「多い」「少ない」で区別する ・「多い」「少ない」を表現する ・「長さ」に注目する。基準に対して「長い」か「短い」かを区別する	『さんすう☆』P78～79 ・玩具 ・プリント 『さんすう☆』P80～81 ・玩具 ・同じ形で長さが違う積み木など	D 測定ア(ア)㊿㊺ イ(イ)㊹
	おかね	・お金の種類を知る ・買い物ごっこをする	・お金のカード ・買い物遊び用お金支払い お助けカード ・お金シール貼りプリント	B 数と計算ア(ア)㊼ ア(イ)㊹

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	3	Ⅱ	算数	35	小学部 2段階

目 標	領域	数と計算	図形	測定	データの活用
	知識及び技能	10 までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、もとの数との関係に関心をもって関わることに ついての技能を身に付けるようにする。	身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするために技能を身に付けるようにする。	身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることについての技能を身に付けるようにする。	身の回りのものや身近な出来事のつながりに関心をもち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。	身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を養う。	量に着目し、二つの量を比べる実保が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を養う。	身の回りのものや身近な出来事のつながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容	教材教具等	学習指導要領に示されている指導内容
1 学期	「くみあわせ①②③」(2) 「10までのかずをかぞえましょう」①②③④(6)	○一対一対応をする。 ・プリントを配るなど ○10までの数の数え方、表し方 ○数の数え方やかずの大きさの比べ方、表し方 ○数唱とものとを対応	・具体物を用いての一対一対応 ・なぞり書きプリント ・数字と数唱の線結び ・数図ブロック 『さんすう☆☆』P4～9 『さんすう☆☆(1)』P10～17	A 数と計算ア(ア)㉔㉕㉖ ア(イ)㉗
	「10までのかず」(4)	○カードづくり ○みえないものをかぞえる ・タンブリンの音を数える ○うごきをかぞえる ・ジャンプンの数を数える(例:トランポリンなど)	・なぞり書きプリント ・数字カード ・タンブリン ・トランポリン 『さんすう☆☆(1)』P18～33	A 数と計算ア(ア)㉕㉖ ア(イ)㉗
2 学期	「くらべてみよう」(2)	○身近にあるものの具体物の操作を通じて、ものの数の大小を比べる。	・数字カード ・数図ブロック 『さんすう☆☆(1)』P34～43	A 数と計算ア(ア)㉔ ア(イ)㉗
	「なんばんめ」①②③(4)	○数の系列を使って、順序や位置を表す。 ○0のりかい ・ボーリング、輪投げ	・プリント ・ボーリング ・輪投げ 『さんすう☆☆(1)』P44～51	A 数と計算ア(ア)㉔㉕ ア(イ)㉗
	「いくつといくつ」①②③ 「おかね」(3)	○一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめて表す。 ○自動販売機、買い物など	・数図ブロック ・さくらんぼ計算シート ・お金カード ・自動販売機 『さんすう☆☆(1)』P52～65	A 数と計算ア(ア)㉔㉕㉖㉗㉘ ア(イ)㉗
	「なかまあつめ」①②③④⑤⑥ 「まるさんかくしかく」①②③④(4)	○色や形、大きさで分ける。 ○身近なものを目的、用途、機能に分ける。 ○丸・三角・四角を知る。 ・具体物に触れ、それぞれの形の理解を深める。	・○△□のカード(色・大きさ・かたち) ・文房具・食器など・丸・三角・四角の具体物 ・プリント 『さんすう☆☆(2)』P4～19	B 図形ア(ア)㉗㉘㉙ イ(ア)㉚㉛ イ(イ)㉜

3 学 期	「くらべてみよう」 わけてみよう①②(7)	○ながい・みじかい ○おもい・かるい ○たかい・ひくい ○ひろい・せまい ○どっちが～ 「ながい・みじかい」「おもい・かるい」「たかい・ひくい」「ひろい・せまい」「あつい・うすい」「ふかい・あさい」 ○わけてみよう	・ひも、てんびん、シート、本 ・コップ、皿、文房具、カラーボールなどの 具体物 ・プリント 『さんすう☆☆(2)』P26～33 『さんすう☆☆(2)』P34～49 『さんすう☆☆(2)』P50～53	C 測定 <u>ア(ア)㊦㊧㊨</u> <u>ア(イ)㊦</u> D データの活用 <u>ア(ア)㊦㊧</u>
	「かつのはどっち」(3)	○かつのはどっち ・たまいれ ○あたったら、はずれたら ・○×を用いた表を作ること、記号の意味が分かること。	・玉入れかご、ボール ・数字カード ・表 ・○×カード 『さんすう☆☆(2)』P54～57	D データの活用 <u>イ(ア)㊦</u> <u>イ(イ)㊦</u> <u>ウ(ア)㊦㊧</u> <u>ウ(イ)㊦</u>

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	4	Ⅱ	算数	70	小学部 2段階

目標	領域	数と計算	図形	測定	データの活用
	知識及び技能	10 までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、もとの数との関係に関心をもって関わることについての技能を身に付けるようにする。	身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするために技能を身に付けるようにする。	身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることについての技能を身に付けるようにする。	身の回りのものや身近な出来事のつながりに関心をもち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。	身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を養う。	量に着目し、二つの量を比べる実保が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を養う。	身の回りのものや身近な出来事のつながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容	教材教具等	学習指導要領に示されている指導内容
1学期	「なかまあつめ」(4)	○くみあわせ ・一対一対応をする。 ・ものの個数を比べて、同等・多少が分かる。	『さんすう☆☆(1)』p4～9 ・おはじき ・数図ブロック	A 数と計算ア(ア)㉞ ア(イ)㉞
	「10までのかず」(12)	○10 までの数の数え方、書き方 ・1～10 までの数字の正しい読み方を身に付ける。 ・指でなぞり書きをする。 ・数字を書く。 ○みえないものをかぞえる ○うごきをかぞえる	『さんすう☆☆(1)』p10～19、32～34 ・数字カード ・なぞりがきプリント ・おはじき ・数図ブロック ・マス目シート	A数と計算ア(ア)㉠㉡㉢ (イ)㉞
	「くらべてみよう」(8)	○長短、重軽、広狭、高低 ・量の大きさや用語が分かり、表現する。 比べるもの:(例)長袖長ズボンと半袖半ズボン、長靴と運動靴、バケツに入った砂や水の重さ、鉄棒の高さ、レジャーシートの広さなど	『さんすう☆☆(2)』p26～33 ・紙テープ ・てんびん ・プリント	C測定ア(ア)㉞㉟ (イ)㉞
2学期	「くらべてみよう」(5)	○10までの数 ○0の理解 ○どっちが… ○大小、長短、重軽、広狭、高低、厚薄、深浅	『さんすう☆☆(1)』p10～19、50～51 『さんすう☆☆(2)』p26～49 ・数字カード ・おはじき ・数図ブロック ・マス目シート ・紙テープ ・てんびん ・プリント	A数と計算ア(ア)㉠㉡ (イ)㉞ C測定ア(ア)㉞㉟ (イ)㉞
	「なんばんめ」(3)	○なんばんめ	『さんすう☆☆(1)』p44～49 ・数字カード ・プリント	A数と計算ア(ア)㉡ (イ)㉞
	「図形」(6)	○円、四角、三角 ○いろいろな形 ○旗をつくろう	『さんすう☆☆(2)』p12～25 ・積み木 ・形カード	B 図形イ(ア)㉡㉢㉣ (イ)㉞
	「お金」(2)	○お金	・硬貨 ・位分けシート ・買い物ごっこセット	A数と計算ア(ア)㉠㉡
	「いくつといくつ」(4)	○いくつといくつ(10まで)	『さんすう☆☆(1)』p52～64 ・さくらんぼシート ・数字カード	A数と計算ア(ア)㉡㉢ (イ)㉞

			・数図ブロック ・プリント	
	「10はいくつといくつ」 (3)	○10はいくつといくつ	『さんすう☆☆(1)』p64～65 ・さくらんぼシート ・数字カード ・数図ブロック ・プリント	A数と計算ア(ア)㊟ (イ)㊲
	「勝つのはどっち」(3)	○○×を用いた表	『さんすう☆☆(2)』p54～57 ・輪投げセット ・的あてセット ・魚釣りセット ・数字カード ・○×カード	D データの活用ア(ア)㊲㊱ (イ) ㊲㊱(ウ) ㊲ ㊱
3 学 期	「お金」(5)	○お金	・硬貨 ・位分けシート ・買い物ごっこセット	A数と計算ア(ア)㊱㊳
	「いくつといくつ」(7)	○いくつといくつ(10まで)	『さんすう☆☆(1)』p52～64 ・さくらんぼシート ・数字カード ・数図ブロック ・プリント	A数と計算ア(ア)㊲㊲ (イ)㊲
	「○はいくつといくつ」 (4)	○11はいくつといくつ ○12はいくつといくつ ○13はいくつといくつ	・さくらんぼシート ・数字カード ・数図ブロック ・プリント	A数と計算ア(ア)㊲㊲㊟ (イ)㊲
	「勝つのはどっち」(4)	○○×を用いた表	『さんすう☆☆(2)』p54～57 ・輪投げセット ・的あてセット ・魚釣りセット ・数字カード ・○×カード	D データの活用ア(ア)㊲㊱ (イ) ㊲㊱(ウ) ㊲ ㊱

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	5	Ⅱ	算数	70	小学部3段階

目 標	領域	数と計算	図形	測定	データの活用
	知識及び技能	100 までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法, 減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。	身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同, 移動, 位置, 機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を養う。	身の回りのものの形に着目し、ぴったり重なる形, 移動, ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養う。	身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を養う。	身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	図形や数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容	教材教具等	学習指導要領に示されている指導内容
1 学 期	「大きい数」(5)	○10より大きい数『さんすう☆☆☆』p5～9 ・10より大きい20までの数を数える。 ・10といくつで数えたり大小を比べたりする。 ・20までの数を書く。 ○20までの数の大小『さんすう☆☆☆』p10～15 ・20までの数を唱えたり数えたり、書いたり大小を比べたりする。	20までの数表 数ブロック(1から20) 数字カード(1から20) 穴埋めプリント 大小比較プリント	A 数と計算ア(ア)㊦㊧ア(イ)㊦
	「大きい数」(5)	○大きい数の書き方『さんすう☆☆☆』p16～17 ・100までの数を唱えたり数えたり、書いたりする。 ○順番に並べましょう『さんすう☆☆☆』p18～31 ・10より小さい数、大きい数を分けたり順番に並べたりする。 ・30程度の数の空欄にどんな数が入るか考える。 ・100までの数の空欄にどんな数が入るか考える。 ・2ずつ、5ずつ、10ずつまとめて数える。 ・同じ数に分ける。	100までの数表 数字カード(1から100) まとまった数(2ずつ、5ずつ、10ずつ) 穴埋めプリント 大小比較プリント	A 数と計算ア(ア)㊦㊧㊧ア(イ)㊦
	「とけい」(6)	○長い針短い針『さんすう☆☆☆』p80～87 ・長針・短針と時刻やそれぞれの進み方と時間の長さの関係を知る。 ・学校生活と時間の関係を知り、時刻を読む。 ・午前、午後の区別を知り、時刻を表す。 ○朝、昼、夜『さんすう☆☆☆』p88～90 ・朝、昼、夜の区別を知り、生活の流れと関係づける。	提示用時計(長針・短針) 色分け長針・短針 生活カード	C 測定イ(ア)㊦㊧イ(イ)㊦
	「あわせていくつ」(8)	○10までの数の足し算『さんすう☆☆☆』p32～35 ・「合わせる」や「増える」などの言葉の意味を知る。 ○式をつくる『さんすう☆☆☆』p36～37 ・「+」「=」の読み方や意味、使い方を知り、式を作る。	言葉カード +=カード 10までの足し算プリント さいころ	A 数と計算イ(ア)㊦㊧(イ)㊦
2 学 期	「あわせていくつ」(8)	○のこりはいくつ『さんすう☆☆☆』p42～44 ・「取る」や「減る」などの言葉の意味を知る。 ○ちがいはいくつ『さんすう☆☆☆』p45 ・「ちがい」の言葉の意味を知る。	言葉カード ーカード さいころ	A 数と計算イ(ア)㊦㊧(イ)㊦
	「図形」(6)	○丸、三角、四角『さんすう☆☆☆』p50～55 ・丸、三角、四角という言葉を使って形を分けたり集めたりする。 ・4つの辺と4つのかどで四角を作る。	丸、三角、四角分類カード ひご、マグネットバー 三角自在定規・四角自在定規	B 図形ア(ア)㊦㊧㊧(イ)㊦㊧㊧

		・紙やひごを用いて、三角や四角を作る。 ○前後左右上下『さんすう☆☆☆』p56～64 ・身の回りのものや道具、場所の位置に関する言葉を知り、ものの位置を表す。	形の分類プリント 前後左右上下プリント	
	「長い短い」(8)	○長さくらべ『さんすう☆☆☆』p68～75 ・長さを端を合わせて比べる。 ・長さを写し取ったりして間接比較する。 ・長さが目盛りのいくつ分か数えて比べる。 ○かさくらべ『さんすう☆☆☆』p76 ・水平な場所で水面の高さで比べる。 ○太さくらべ『さんすう☆☆☆』p77 ・周の長さや断面の大きさを比べる。	紙テープ 定規 計量カップ	C 測定ア(ア)㉔㉕(イ)㉔
	「計算しよう」(4)	○足し算、引き算『さんすう☆☆☆』p46～47 ・「－」「＝」の読み方や意味、使い方を知り、10までの足し算・引き算の式を作る。 ○お金 ・1000円までの金種を確認する。 ・3桁までの金額と金種の間接関係を確かめる。	足し算・引き算プリント 模擬銭、模擬札 金種と位取り表	A 数と計算イ(ア)㉕㉖㉗(イ)㉔
3 学 期	「計算しよう」(6)	○足し算、引き算『さんすう☆☆☆』p46～47 ・10までの数の足し算の式を作り、計算する。 ・10までの引き算の式を作り、計算する。 ○お金『さんすう☆☆☆』p98～101 ・3桁までの金額の読み方を知り、それぞれの金種と同じ数をそろえる。 ・3桁まで数の大小を知る。	足し算・引き算プリント 模擬銭、模擬札 金種と位取り表	A 数と計算イ(ア)㉕㉖㉗(イ)㉔
	「計算しよう」(8)	○足し算、引き算『さんすう☆☆☆』p46～47 ・10までの数の足し算の式を作り、計算する。 ・10までの引き算の式を作り、計算する。 ○お金『さんすう☆☆☆』98～101 ・3桁までの金額の読み方を知り、それぞれの金種と同じ数をそろえる。 ・3桁までの数の大小を知る。	足し算・引き算プリント 模擬銭、模擬札 金種と位取り表	A 数と計算イ(ア)㉕㉖㉗(イ)㉔
	「計算しよう」(6)	○足し算、引き算『さんすう☆☆☆』p46～47 ・10までの数の足し算の式を作り、計算する。 ・10までの引き算の式を作り、計算する。 ○表をつくろう『さんすう☆☆☆』p94～97 ・記号に置き換えて一覧表を作る。 ・一覧表を見て、比較する言葉を用いて表現する。	足し算・引き算プリント 表	A 数と計算イ(ア)㉕(イ)㉔

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	6	Ⅱ	算数	70	小学部3段階

目 標	領域	数と計算	図形	測定	データの活用
	知識及び技能	100 までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。	身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を養う。	身の回りのものの形に着目し、ぴったり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養う。	身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を養う。	身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	図形や数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容	教材教具等	学習指導要領に示されている指導内容
1学期	「 大きい数 」（8）	○100までの数 ・100までの数を唱える。 ・100までの個数を数えたり書き表したりする。 ・100までの数の大小を比べる。	数字カード 1から100までのえほん 数図ブロック	A 数と計算ア(ア)㉑
	「まとめて数えよう」(4)	○2ずつ、5ずつ、10ずつまとめて数える。 ○おなじ数に分ける。『さんすう☆☆☆』P29～31	『さんすう☆☆☆』P22～28 『さんすう☆☆☆』P29～31 数図ブロック 絵カード	A 数と計算ア(ア)㉔
	「とけい」(6)	○午前・午後 ○朝・昼・夜 ○昨日・今日 ○あしたはおやすみ ・カレンダー	『さんすう☆☆☆』P86～87 『さんすう☆☆☆』P88～90 『さんすう☆☆☆』P91 『さんすう☆☆☆』P92～93 時計の模型 カレンダー	C 測定イ(ア)㉗㉘(イ)㉚
	「あわせていくつ」(6)	○20までの足し算 ・繰り上がりのある足し算では、「10とあといくつ」という見方をして計算する。 ○式をつくる、計算	『さんすう☆☆☆』P38～41 数図ブロック 絵カード	A 数と計算イ(ア)㉙㉚
2学期	「あわせていくつ」(7)	○のこりはいくつ ・「へる」「あげる」「とんでいく」「でていく」は引き算になることを知る。 ○ちがいはいくつ・「ちがいはいくつ」は引き算になることを知る。	『さんすう☆☆☆』P42～44 『さんすう☆☆☆』P45 数図ブロック 絵カード	A 数と計算イ(ア)㉚
	「図形」(6)	○角を探そう ・三角定規などの直角の角を、教室の中で机やドアのかどに直接重ねて同じ形の角を見つける。 ○角の大きさ ・傾斜を作ると角ができることを知る。 ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、「大きい・小さい」を表現する。	『さんすう☆☆☆』P65 『さんすう☆☆☆』P66～67 三角定規・三角積み木 板 紙粘土 ビー玉	B図形ア(ア)㉛㉜(イ)㉞
	「長い短い」(6)	○広さくらべ ・敷物や本などの具体物を直接比較する。	『さんすう☆☆☆』P78～79 敷物 ・様々な大きさの本	C 測定イ(ア)㉞㉟(イ)㉟

		・「ひろい」「せまい」を表現する。 ○距離くらべ ・「とおい」「ちかい」を表現する。	『さんすう☆☆☆』P78～79	
	「計算しよう」(7)	○足し算、引き算 ○買い物をしよう ・金種を知る。	『さんすう☆☆☆』P98～99 お金 商品	A 数と計算イ(ア)㊶㊷
3 学 期	「計算しよう」(7)	○足し算、引き算 ○お金をならべてみましょう ・3桁のお金を、金種を考えながらならべる。	『さんすう☆☆☆』P100～101 お金 商品	A 数と計算イ(ア)㊶㊷
	「計算しよう」(7)	○足し算、引き算 ○買い物をしよう ・お店やさんごっこをして、ちよどのお金をはらったりもらったりする。 ○表をつくろう ・ボウリングなどのゲームの結果を表にまとめる。	『さんすう☆☆☆』P98～99 お金・商品 『さんすう☆☆☆』P94～95 ボウリングゲーム 魚釣りゲーム	A 数と計算イ(ア)㊶㊸ Dデータの活用ア(ア)㊷㊸(イ)㊷
	「計算しよう」(6)	○買い物をしよう ・お店やさんごっこをして、多めのお金を出してお釣りをもらったり、お釣りを渡したりする。 ○表をつくろう ・天気調べをし、結果を●印などで記録して棒グラフに表す。	『さんすう☆☆☆』P98～99 お金・商品 『さんすう☆☆☆』P96～97 天気の絵カード	A 数と計算イ(ア)㊶㊸㊹ Dデータの活用ア(ア)㊷㊸(イ)㊷

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
中学部	1	Ⅱ	数学	Ⅱ 70	中学部1段階

目 標	領域	数と計算	図形	測定／変化と関係	データの活用
	知識及び技能	3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。	三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにあるデータを分類整理して簡単なグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることについての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。	三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を養う。	身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養う。	身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容	教材・教具等	学習指導要領に示されている指導内容
1 学 期	「数えてみよう」(7)	○1000までの数の数え方 ・1000までの数をいくつかの同じまとまりに分割して数える。 ・3位数を100のまとまり、10のまとまりの個数と端数として表し、十進位取り記数法による数の表し方を身に付ける。 ・数を十や百、千を単位としてみることで相対的な大きさを捉え、数の仕組みの理解を深める。 ・数直線について理解し、目盛りを読む。	『数学☆☆☆☆』p4～25	A 数と計算 <u>ア(ア)㉗㉘㉙㉚(イ)㉛</u>
	「数比べ①」(3)	○3位数の数系列、順序、大小 ・十進位取り記数法による数の大小や順序について理解する。 ・数直線を用いて数の大小や順序を表す。	『数学☆☆☆☆』p26～29	A 数と計算 <u>ア(ア)㉚(イ)㉛</u>
	「形を調べよう」(3)	○図形の分類、身の回りの形探し ・図形を同じ形で分類し、三角形と四角形の定義や辺と頂点の言葉の意味を知る。 ・身の回りのもののなかから、三角形や四角形の形をしたものを取り出す。	『数学☆☆☆☆』p98～99	B図形 <u>ア(ア)㉜(イ)㉝</u>
	「三角形と四角形」(2)	○三角形、四角形の辺や頂点の数 ・格子状に並んだ点を線で繋いで三角形や四角形をかく。	『数学☆☆☆☆』p100	B図形 <u>ア(ア)㉝㉞</u>

	「長さ」(7)	○長さ比べ ・2つの物の長さ比べを行い、普遍単位による測定の必要性に気づき、計器を用いる目的やその働きについて捉える。 ○長さの単位 (cm) ・長さの単位 (cm) について知り、身の回りにあるものの長さをめもりテープ (1 目盛り=1cm) を使って調べる。 ○長さの単位 (mm) ・長さの単位 (mm) について知り、身の回りにあるものの長さをものさしを使って調べる。 ・cm を使って表した長さを mm に変換して表したり、mm で表した長さを cm に変換して表したりする。 ○長さの単位 (m) ・長さの単位 (m) について知り、身の回りにあるものの長さを巻き尺を使って調べる。 ○長さの単位 (km) ・長さの単位 (km) について知り、学校周辺の施設までの道のりを調べる。 ○ものさしと定規 ・ものさしと定規の用途や使い方を知る。	『数学☆☆☆☆』p112～119 めもりテープ ものさし (30cm、1m) 巻き尺 地図 (学校周辺の施設への道のりが記載してあるもの) 定規	C測定ア(ア)㊦㊧(イ)㊦
	「表とグラフ㊦」(3)	○表やグラフで表す ・身の回りの数量 (果物のイラストの数、さいころを振って出た目の回数) を表やグラフで表す。	『数学☆☆☆☆』p142～144 さいころ	Dデータの活用ア(ア)㊦(イ)㊦
2 学 期	「2 位数、3 位数の足し算引き算」(20)	○2 位数の足し算 ・ブロックや積み木、硬貨などの具体物を使い、十を単位とした位に注目しながら2 位数の足し算の計算方法を考える。 ・繰り上がりのない2 位数+2 位数の筆算の仕方を考え、計算する。 ○繰り上がりのある2 位数の足し算 ・ブロックや積み木、硬貨などの具体物を使い、十や百を単位とした位に注目しながら2 位数の足し算の計算方法を考える。 ・繰り上がりのある2 位数+2 位数の筆算の仕方を考え、繰り上がりのある2 位数の足し算を計算する。 ○繰り下がりのある2 位数の引き算 ・合わせて10になる数について考える。(例:1と9、2と8) ・繰り下がりのある2 位数－1 位数の引き算の仕方を考え、計算する。 ・ブロックや積み木、硬貨などの具体物を使い、十を単位とした位に注目しながら2 位数どうしの引き算の計算方法を考える。 ・繰り下がりのない2 位数－2 位数の筆算の仕方を考え、計算する。 ・繰り下がりのある2 位数－2 位数の筆算の仕方を考え、計算する。 ○3 位数の足し算 ・簡単な3 位数どうしの計算を具体物や図、筆算を用いながら計算する。 ・繰り上がりのある3 位数の足し算の筆算の仕方を考え、計算する。 ○3 位数の引き算 ・繰り下がりのある3 位数の引き算の筆算の仕方を考え、計算する。	『数学☆☆☆☆』p30～57 具体物 (ブロック、積み木、硬貨)	A数と計算イ(ア)㊦㊧(イ)㊦
	かさ(4)	○かさ比べ ・2つのかさの量を比べ、普遍単位による測定の必要性に気づき、計器を用いる目的やその働きについて捉える。 ○かさの単位 (L) ・かさの単位 (L) について知り、身の回りにあるもののかさを1リットルますや計量カップを使って調べる。	『数学☆☆☆☆』p120～123 1リットルます 計量カップ	C測定ア(ア)㊦㊧(イ)㊦

		・1Lの水をいろいろな容器に入れ、1Lのおおよその感覚をつかむ。 ○かさの単位 (dL) ・かさの単位 (dL) について知り、身の回りにあるもののかさを1リットルますや計量カップを使って調べる。 ○かさの単位 (mL) ・かさの単位 (mL) について知り、1000mLや100mLの水を1リットルますで計測する。		
	「長方形と正方形」(4)	○直角 ・紙を折った角の形を調べたり、身の回りで角が直角になっているものを探したりする。 ○長方形・正方形 ・紙を折ってできた四角形の角の形を調べたり、向かい合っている辺の長さを調べたりする活動を通して、長方形の辺の長さや角の形の特徴についての理解を深める。 ○直角三角形 ・長方形・正方形の紙を切り、直角三角形を作る。 ・三角形に切った紙を組み合わせて、長方形や直角三角形を作る。	『数学☆☆☆』p101～105 画用紙(折り紙) はさみ	B図形ア(ア)㉗㉘
	「箱を作ろう」(2)	○立体図形の分類 ・いくつかの空き箱を観察し、構成要素に着目して2つの仲間(直方体と立方体)に分類する。	『数学☆☆☆』p106 空き箱	B図形ア(ア)㊥
3 学 期	「計算のきまり①」 (4)	○足し算の性質 ・同じ式において、元の数と足す数の順序を変えて計算した結果を比べ、順序を変えて計算しても同じ答えになることに気付く。 ○引き算の性質 ・減法の答えに引いた数を足すと元の数になることに気づき、減法の確かめに加法を使うことができると知る。	『数学☆☆☆』p58	A数と計算ア(ア)㉗(イ)㉗
	「計算機①」(3)	○計算機の使い方 ・計算機のボタンの意味や使い方について知り、計算機を使って加法や減法を計算する。	『数学☆☆☆』p61～63 計算機	A数と計算ア(ア)㊥(イ)㉗
	「箱の形」(4)	○面の形や数 ・空き箱や積み木の面の形を紙に写し取ったり、空き箱の面を切り取ったりして形や数を調べる。 ・空き箱を展開し、面の形や数を調べる。 ・6枚の長方形や正方形を貼り合わせて箱の形を作ったり、12本のひごを用いて箱の形を作ったりすることで、面と面の間に辺があり、辺が集まったところに頂点があることを理解する。	『数学☆☆☆』p107～109 空き箱 積み木 ひご 紙粘土	B図形ア(ア)㊥(イ)㉗
	「表とグラフ②(4)」	○表やグラフから分かること ・学級や学年でアンケートを取り、結果を表やグラフにまとめる。 ・表やグラフからどんなことが分かるかについて考える。	『数学☆☆☆』p145～146 模造紙 シール	Dデータの活用ア(ア)㉗(イ)㉗

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
中学部	2	Ⅱ 課程	数学	70 時間	中学部 1, 2段階

目標	領域	数と計算	図形	測定／変化と関係	データの活用
	知識及び技能 上：1段階 下：2段階	3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。	三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。	身の回りにあるデータを分類整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることについての技能を身に付けるようにする。
		整数の概念や性質について理解を深め、数に対する感覚を豊かにする とともに、加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりすることができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。	二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形や面積、角の大きさについて理解し、図形についての感覚を豊かにする とともに、図形を作図や構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	二つの数量の関係や変化の様子を表や式、グラフで表すことについて 理解するとともに、二つの数量の関係を割合によって比べることについての技能を身に付けるようにする。	データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等 上：1段階 下：2段階	数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。	三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を養う。	身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養う。	身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、 考察したりする力を養う。
		数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、 扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を 場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。	二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形を構成する要素に着目し て、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察 したりする力、図形を構成する要素に着目し、図形の計量について考察する力を養う。	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、変化の特徴に気付き、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察したり、割合を用いて考察したりする力を養う。	身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりする力を養う。
	学びに向かう力、人間性等 上：1段階 下：2段階	数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
		数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容	教材・教具等	学習指導要領に示されている指導内容
1学期	「かけ算」(8)	○かけ算 ・乗法が用いられる場合や意味を知る。 ・乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりする。 ・乗法に関して成り立つ簡単な性質を知る。 ・かけ算九九について知り、1 位数と1 位数のかけ算をする。	『数学☆☆☆☆』p64～p97 かけ算九九の歌 かけ算九九の問題アプリ	①A 数と計算㉮(ア)㉿㊱㊲㊳ (イ)㊴

	「1000より大きい数」 (5)	○整数の表し方 ・4位数までの十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解する。 ・10。100、1000のまとまりをつくって数える。	『数学☆☆☆☆』p4～p9	②A数と計算ア(ア)㊲ (イ)㊲
	「模様を作ろう」(4)	○図形 ・身の回りから長方形や正方形を探す。 ・正方形、長方形及び直角三角形をかいいたり、作ったり、それらを使って平面に敷き詰めたりする。	『数学☆☆☆☆』p110 正方形、長方形、直角三角形の紙	①B図形ア(ア)㊳ (イ)㊲
	「重さ」(4)	○量の単位と測定 ・重さの単位[グラム(g)、キログラム(kg)]について知り、測定の意味を理解する。 ・文房具等、身の回りの物を量ったり、比べたりする。	『数学☆☆☆☆』p124 はかり	①C測定ア(ア)㊴㊵ (イ)㊲
	「表と棒グラフ①」(4)	○データを表やグラフで表したり、読み取ったりする。 ・データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりする。 ・表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解する。	『数学☆☆☆☆』p108～p115	②Dデータの活用ア(ア)㊶㊷ (イ)㊲㊴
2 学 期	「数の大きさの比べ方」 (8)	○整数の数の表し方 ・4位数までの十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解する。 ・数直線を使い、視覚的に1000より大きい数の並びを捉えるようにする。	『数学☆☆☆☆』p10～p15 数直線	②A数と計算ア(ア)㊲ (イ)㊲
	「10倍、100倍の数・10 に分けた数」(6)	○整数の数の表し方 ・10倍、100倍、10分の1の大きさの数及びその表し方について知る	『数学☆☆☆☆』p16～p20	②A数と計算ア(ア)㊴ (イ)㊲
	「時刻と時間」(10)	○時刻や時間 ・日常生活に必要な時刻や時間を求める。 ・時間の単位(秒)について知る。	『数学☆☆☆☆』p130～p141 模型の時計	①C測定イ(ア)㊶㊷ (イ)㊲
	「長方形、正方形、直 角三角形をかこう」(6)	○図形 正方形、長方形及び直角三角形をかいいたり、作ったり、それらを使って平面に敷き詰めたりする。	『数学☆☆☆☆』p111 正方形、長方形、直角三角形の紙	①B図形ア(ア)㊳ (イ)㊲
3 学 期	「3桁、4桁の数の計 算」(3)	○整数の加法及び減法 ・3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算ができる。また、それらの筆算についての 仕方を知る	『数学☆☆☆☆』p26～p36	②A数と計算イ(ア)㊲ (イ)㊲
	「計算のきまり」(3)	○整数の加法及び減法 ・加法及び減法に関して成り立つ性質を理解する。 ・3位数や4位数の啓さんでも加法や減法の計算のきまりが同様に成り立つことを理解する。	『数学☆☆☆☆』p37～p38	②A数と計算イ(ア)㊴ (イ)㊲
	「計算機②」(3)	○整数の加法及び減法 ・計算機を使って、具体的な生活場面における 加法及び減法の計算ができる	『数学☆☆☆☆』p39 計算機	②A数と計算イ(ア)㊶ (イ)㊲
	「二等辺三角形と正三 角形」(3)	○図形 ・二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に着目する。 ・二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスなどを用いて作図する。 ・基本的な図形と関連して角について知る。	『数学☆☆☆☆』p74～p79 定規、コンパス	②B図形ア(ア)㊶㊷㊸ (イ)㊲
	「表と棒グラフ②」(3)	○データを表やグラフで表したり、読み取ったりする。 ・データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりする。 ・表や棒グラフの意味やその用い方を理解する。	『数学☆☆☆☆』p108～p115	②Dデータの活用ア(ア)㊶㊷ (イ)㊲㊴

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
中学部	3	Ⅱ	数学	Ⅱ 70	中学部2段階

目 標	領域	数と計算	図形	測定／変化と関係	データの活用
	知識及び技能	整数の概念や性質について理解を深め、数に対する感覚を豊かにすると共に、加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりすることができるようにすることについての技能を身につけるようにする。	二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形や面積、角の大きさについて理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図や構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたりすることなどについての技能を身につけるようにする。	二つの数量の関係や変化の様子を表や式、グラフで表すことについて理解するとともに、二つの数量の関係を割合によって比べることについての技能を身に付けるようにする。	データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身につけるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。	二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、図形を構成する要素に着目し、図形の計量について考察する力を養う。	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、変化の特徴に気付き、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察したり、割合を用いて考察したりする力を養う。	身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりする力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容	教材・教具等	学習指導要領に示されている指導内容
1学期	「かけ算・わり算」(12)	○必要な数は全部でいくつ ○かけ算のきまり ○0のかけ算 ・1位数と1位数との乗法の計算ができ、それを適切に用いる。 ○いろいろな式 ・交換法則や分配法則といった乗法に関して成り立つ性質を理解する。 ○一人分はいくつ ○何人に分けられる ○□を使った考え方 ・除法が用いられる場合や意味について理解する。 ・除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりする。 ・除法と乗法との関係について理解する。 ・除数と商が共に1位数である除法の計算ができる。 ○余りのある計算 ・余りについて知り、余りの求め方が分かる。	「数学☆☆☆☆」P.40～51 P.52～62	A 数と計算 ウ <u>(ア)㉞㉟</u> <u>(イ)㊲</u> エ <u>(ア)㉞㉟</u> <u>(イ)㊲</u>
	「垂直と平行」(2) 「円」(2) 「円と球」(2)	○直線の交わり方を調べよう ・直線の平行や垂直の関係について理解する。 ○丸い形「円」について学習しよう ・円について、中心、半径及び直径を知る。 ・コンパスを使って模様をかく。 ・円の中心を見つける。 ○球の形について学習しよう ・球の形を探す。 ・球の切り口や直径などを知る。	「数学☆☆☆☆」P.80～81 P.82～85 P.86～87	B 図形 ア <u>(ア)㊵</u> <u>(イ)㊶</u> <u>ア(ア)㊵</u> <u>(イ)㊶</u> <u>ア(ア)㊵</u> <u>(イ)㊶</u>

	「2つの量の変わり方①」 (3)	○変わり方を調べよう ・変化の様子を表や式を用いて表したり, 変化の特徴を読み取ったりする。	「数学☆☆☆☆」P.100～103	C 変化と関係 ア(ア)㊦ (イ)㊦
	「折れ線グラフ①」(4)	○変わり方をわかりやすく表そう ○折れ線グラフのかき方 ・データを二つの観点から分類及び整理し, 折れ線グラフで表したり, 読み取ったりする。 ・表や折れ線グラフの意味やその用い方を理解する。	「数学☆☆☆☆」P.116～121	D データの活用 ア(ア)㊦㊦ (イ)㊦㊦
2 学 期	「小数、分数」(14)	○1より小さい数の読み方 ・端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知る。 ・ $\frac{1}{10}$ の位までの小数の仕組みや表し方について理解する。 ○同じ量や大きさに分けてみよう ・ $\frac{1}{2}$, $\frac{1}{4}$ など簡単な分数について知る。	「数学☆☆☆☆」P.63～66 P.67～69	A 数と計算 オ(ア)㊦㊦ (イ)㊦ カ(ア)㊦ (イ)㊦
	「2つの量の変わり方②」 (8)	○変わり方を比べよう ・簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知る。	「数学☆☆☆☆」P.104～107	C 変化と関係 イ(ア)㊦ (イ)㊦
	「面積」(8)	○広さを比べて数で表そう ○面積の単位を知ろう ・面積の単位[平方センチメートル(cm^2), 平方メートル(m^2), 平方キロメートル(km^2)]について知り, 測定の意味について理解する。 ○面積を計算しよう ・正方形及び長方形の面積の求め方について知る。	「数学☆☆☆☆」P.88～93	B 図形 イ(ア)㊦㊦ (イ)㊦
3 学 期	「□を使った式と図」(5)	○式を作って考えよう ・数量の関係を式に表したり, 式と図を関連付けたりする。 ・□などを用いて数量の関係を式に表すことができることを知る。 ・□などに数を当てはめて調べる。	「数学☆☆☆☆」P.70～73	A 数と計算 キ(ア)㊦㊦㊦ (イ)㊦
	「角度」(5)	○角の大きさを比べよう ○いろいろな大きさの角をつくろう ○角度を測ろう ・角の大きさを回転の大きさとして捉える。 ・角の大きさの単位(度(°))について知り, 測定の意味について理解する。 ・角の大きさを測定する。	「数学☆☆☆☆」P.94～99	B 図形 ウ(ア)㊦㊦㊦ (イ)㊦
	「折れ線グラフ②」(5)	○変わり方をわかりやすく表そう ○折れ線グラフのかき方 ・データを二つの観点から分類及び整理し, 折れ線グラフで表したり, 読み取ったりする。 ・表や折れ線グラフの意味やその用い方を理解する。	「数学☆☆☆☆」P.116～121	D データの活用 ア(ア)㊦㊦ (イ)㊦㊦

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
高等部	1	Ⅱ	数学	35	高等部 1 段階

目標	領域	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
	知識及び技能	整数，小数，分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに，整数，小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し，それらを計算する技能を身に付けるようにする。	図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係，図形の合同や多角形の性質について理解し，図形を作図したり，三角形，平行四辺形，ひし形，台形の面積を求めたりする技能を身に付けるようにする。	比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方，百分率について理解するとともに，目的に応じてある二つの数量の関係と別の二つの数量とを比べたり，表現したりする方法についての技能を身に付けるようにする。	データを円グラフや帯グラフで表す表し方や読み取り方，測定した結果を平均する方法について理解するとともに，それらの問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し，数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり，数とその表現や数量の関係に着目し，目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに，数量の関係を簡潔に，また一般的に表現する力を養う。	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し，構成の仕方を考察したり，図形の性質を見いだしたりするとともに，三角形，平行四辺形，ひし形の面積の求め方を考え，その表現を振り返り，簡潔かつ的確な表現に高め，公式として導く力を養う。	伴って変わる二つの数量の関係に着目し，その変化や対応の特徴を表や式を用いて考察したり，異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養う。	目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して，表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量について数学的に表現・処理したことを多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
1学期	「10000、1 億、大きい数を調べよう」(2)	・大きな数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりする。 ・万、億、兆の単位を知り、数のまとまりに着目し、大きな数及びその表し方の理解を深める。 ・10 倍、100 倍、100 倍、10分の1倍の大きさの数及びその表し方の理解を深める。	・学習プリント ・計算機 ・タブレット	A 数と計算 <u>ア(ア)㊦・㊩・㊰</u> <u>ア(イ)㊦</u>
	「整数と少数」(2)	・ある数の10倍、100倍、1000倍、10分の1、100分の1などの大きさの数を、少数の位置を移してつくる。 ・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かす。	・学習プリント ・計算機 ・タブレット	A 数と計算 <u>イ(ア)㊦</u> <u>イ(イ)㊦</u>
	「およその数」(2)	・概数や四捨五入について知る。 ・目的に応じて四則計算の結果の見積もりをする。 ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常に生かす。	・学習プリント ・計算機 ・タブレット	A 数と計算 <u>ウ(ア)㊦・㊩・㊰</u> <u>ウ(イ)㊦</u>
	「数の筆算、暗算」(2)	・2位数や3位数に1位数や2位数をかける情報の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解する。 ・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いる。	・学習プリント ・計算機 ・タブレット	A 数と計算 <u>エ(ア)㊦・㊩</u> <u>エ(イ)㊦</u>
	「かけ算の筆算のしかたを考えよう」(2)	・乗法に関して成り立つ性質について理解する。 ・計算を工夫したり、計算の確かめをしたりする。	・学習プリント ・計算機 ・タブレット	A 数と計算 <u>オ(ア)㊦・㊩・㊰</u> <u>オ(イ)㊦</u>
	「同じ数ずつ分ける時の計算を考えよう」(2)	・除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解する。 ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりする。	・学習プリント ・計算機 ・タブレット	A 数と計算 <u>カ(ア)㊦</u> <u>カ(イ)㊦</u>

	「わり算を考えよう」(2)	・除数について、次の関係を理解する。(被除数)＝(除数)×(商)＋(余り) ・計算を工夫したり、計算の確かめをしたりする。	・学習プリント ・計算機 ・タブレット	A 数と計算 $\text{カ}(\text{ア})\frac{\text{イ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{エ}}{\text{エ}}$ $\text{カ}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
2 学 期	「少数のしくみを調べよう」(2)	・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知る。 ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深める。 ・小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができる。 ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができる。 ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かす。	・学習プリント ・計算機 ・タブレット	A 数と計算 $\text{キ}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{イ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{エ}}{\text{エ}}$ $\text{キ}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
	「かけ算割り算の世界」(2)	・乗数や除数が小数である場合の称すの乗法及び除法の意味について理解する。 ・小数の乗法及び除法の計算ができる。 ・余りの大きさについて理解する。 ・小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解する。 ・乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉えなおすとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりする。	・学習プリント ・計算機 ・タブレット	A 数と計算 $\text{ク}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{イ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{エ}}{\text{エ}}$ $\text{ク}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
	「分数」(2)	・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解すること。また、分数の表し方について知る。 ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知る。 ・簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知る。 ・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知る。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 ・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かす。 ・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かす。	・学習プリント ・タブレット	A 数と計算 $\text{ケ}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{イ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{エ}}{\text{エ}}$ $\text{ケ}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{イ}}{\text{エ}}$
	「四角形の特ちょうを調べよう」(2)	・平行四辺形、ひし形、台形について知る。 ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直す。	・学習プリント ・タブレット ・図形の模型	B 図形 $\text{ア}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$ $\text{イ}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
	「形も大きさも同じ図形を調べよう」(2)	・平行四辺形、ひし形、台形について知る。 ・図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解する。 ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直す。	・学習プリント ・タブレット ・図形の模型	B 図形 $\text{イ}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{イ}}{\text{エ}}$ $\text{イ}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
	「図形の角を調べよう」(2)	・三角形や四角形など高く木についての簡単な性質を理解する。	・学習プリント ・タブレット ・図形の模型	B 図形 $\text{イ}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{イ}}{\text{エ}}$ $\text{イ}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
	「多角形と円をくわしくしらべよう」(2)	・円と関連させて正多角形の基本的な性質を知る。 ・円周率の意味について理解し、それを用いる。	・学習プリント ・タブレット ・図形の模型	B 図形 $\text{イ}(\text{ア})\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{エ}}{\text{エ}}$ $\text{イ}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
3 学 期	「箱の形の特ちょうをしらべよう」(2)	・直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解する。	・学習プリント ・タブレット ・図形の模型	B 図形 $\text{イ}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{イ}}{\text{エ}}$ $\text{イ}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
	「立体をくわしく調べよう」(2)	・見取り図、展開図について知る。 ・基本的な角柱や円柱について知る。	・学習プリント ・タブレット ・図形の模型	B 図形 $\text{イ}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{イ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{エ}}{\text{エ}}$ $\text{イ}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
	「変わり方を調べよう」(1)	・簡単な場合について、比例の関係があることを知る。 ・伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する。	・学習プリント ・タブレット	C 変化と関係 $\text{ア}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$ $\text{ア}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$
	「割合をグラフに表して調べよう」(2)	・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯フラフで表したり、読んだりする。 ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解する。 ・データの収集や適切や手法の選択など統計的な問題解決の方法を知る。 ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察する。	・学習プリント ・タブレット	D データの活用 $\text{ア}(\text{ア})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{イ}}{\text{エ}}\cdot\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ $\text{ア}(\text{イ})\frac{\text{ア}}{\text{エ}}$

学部		学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
高等部		2	Ⅱ	数学	35	高等部 1 段階・2 段階

目標	領域	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
	知識及び技能	整数，小数，分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに，整数，小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し，それらを計算する技能を身に付けるようにする。	図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係，図形の合同や多角形の性質について理解し，図形を作図したり，三角形，平行四辺形，ひし形，台形の面積を求めたりする技能を身に付けるようにする。	比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方，百分率について理解するとともに，目的に応じてある二つの数量の関係と別の二つの数量とを比べたり，表現したりする方法についての技能を身に付けるようにする。	データを円グラフや帯グラフで表す表し方や読み取り方，測定した結果を平均する方法について理解するとともに，それらの問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。
		整数，小数，分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに，整数，小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し，それらを計算する技能を身に付けるようにする。	平面図形を縮小したり，拡大したりすることの意味や，立体図形の体積の求め方について理解し，縮図，拡大図を作図したり，円の面積や立方体，直方体，角柱，円柱の体積を求めたりする技能を身に付けるようにする。	比例や反比例の関係，比例について理解するとともに，伴って変わる二つの数量を見だし，それらの関係について表や式を用いて表現したり，目的に応じて比で処理したりする方法についての技能を身に付けるようにする。	量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法を理解するとともに，それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し，数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり，数とその表現や数量の関係に着目し，目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに，数量の関係を簡潔に，また一般的に表現する力を養う。	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し，構成の仕方を考察したり，図形の性質を見いだしたりするとともに，三角形，平行四辺形，ひし形の面積の求め方を考え，その表現を振り返り，簡潔かつ的確な表現に高め，公式として導く力を養う。	伴って変わる二つの数量の関係に着目し，その変化や対応の特徴を表や式を用いて考察したり，異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養う。	目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して，表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。
		数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し，数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり，数とその表現や数量の関係に着目し，目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに，数量の関係を簡潔に，また一般的に表現する力を養う。	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し，構成の仕方を考察したり，図形の性質を見いだしたりするとともに，円の面積や立方体，直方体，角柱，円柱の体積の求め方を考え，その表現を振り返り，簡潔かつ的確な表現に高め，公式として導く力を養う。	伴って変わる二つの数量の関係に着目し，目的に応じて表や式，グラフを用いて変化や対応の特徴を考察したり，比例の関係を前提に二つの数量の関係を考察したりする力を養う。	目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して，表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題解決したり，解決の過程や結果を批判的に捉え考察したりする力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	数量について数学的に表現・処理したことを多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
		数量について数学的に表現・処理したことを多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
1学期	「計算のやくそくを調べよう」(4)	・四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。 ・数量の関係を表す式についての理解を深めること。 ・四則に関して成り立つ性質についての理解を深めること	・くらしに役立つ 数学p18～21 ・学習プリント ・タブレット	① A 数と計算 $\frac{\text{コ(ア)}\textcircled{7} \cdot \textcircled{㊸}}{\text{サ(ア)}\textcircled{7} \text{ サ(イ)}\textcircled{7}}$
	「整数の性質を調べよう」(4)	・整数は観点を決めると偶数と奇数に種別されることを理解すること。 ・約数・倍数について理解すること。 ・乗法および除法に着目し観点を決めて整数を種別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに日常生活に生かすこと。		② A 数と計算 $\frac{\text{ア(ア)}\textcircled{7} \cdot \textcircled{㊸}}{\text{ア(イ)}\textcircled{7}}$
	「平面上や空間内の点や位置の表し方」(2)	・ものの位置の表し方について理解すること。 ・平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。	・学習プリント ・タブレット	① B 図形 $\frac{\text{ウ(ア)}\textcircled{7}}{\text{ウ(イ)}\textcircled{7}}$
	「面積の求め方を考えよう」(2)	・三角形・平行四辺形・ひし形・台形の面積の計算による求め方について理解すること。 ・図形を構成する要素などに注目して基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。	・くらしに役立つ 数学p41、42、43 ・学習プリント ・タブレット	① B 図形 1段階 $\frac{\text{エ(ア)}\textcircled{7}}{\text{エ(イ)}\textcircled{7}}$
2学期	「比べ方を考えよう」(4)	・速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること。 ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比較したり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすこと。	・くらしに役立つ 数学p50 ・学習プリント ・タブレット	① C 変化と関係 $\frac{\text{イ(ア)}\textcircled{7}}{\text{イ(イ)}\textcircled{7}}$
	「ならした大きさを考えよう」(4)	・平均の意味や求め方を理解すること。 ・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。	・くらしに役立つ 数学p51、52 ・学習プリント ・タブレット	① D データの活用 $\frac{\text{イ(ア)}\textcircled{7}}{\text{イ(イ)}\textcircled{7}}$
	「比例の関係を調べよう」(4)	・比例の関係の意味や性質を理解し、比例の関係をを用いた問題解決の方法について理解すること。 ・反比例の関係について理解すること。 ・伴って変わる二つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かすこと。	・くらしに役立つ 数学p30、31 ・学習プリント ・タブレット	② C 変化と関係 $\frac{\text{ア(ア)}\textcircled{7} \cdot \textcircled{㊸} \cdot \textcircled{㊹}}{\text{ア(イ)}\textcircled{7}}$
3学期	「つり合いの取れた図形を調べよう」(2)	・縮図や拡大図、対照的な図形について理解すること。 ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすること。	・学習プリント ・タブレット	② B 図形 $\frac{\text{ア(ア)}\textcircled{7} \cdot \textcircled{㊸}}{\text{ア(イ)}\textcircled{7}}$
	「形が同じで大きさのちがう図形を調べよう」(2)			
	「データの特ちょうを調べて判断しよう」(2)	・代表値の意味や求め方を理解すること。 ・度数分布を表す柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解すること。 ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解すること。 ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること。	・くらしに役立つ 数学p70～74 ・学習プリント ・タブレット	② D データの活用 $\frac{\text{ア(ア)}\textcircled{7} \cdot \textcircled{㊸} \cdot \textcircled{㊹}}{\text{ア(イ)}\textcircled{7}}$

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
高等部	3	Ⅱ	数学	35	高等部 2 段階

目標	領域	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
	知識及び技能	整数の性質，分数の意味，文字を用いた式について理解するとともに，分数の計算についての意味や法則について理解し，それらを計算する技能を身に付けるようにする。	平面図形を縮小したり，拡大したりすることの意味や，立体図形の体積の求め方について理解し，縮図，拡大図を作図したり，円の面積や立方体，直方体，角柱，円柱の体積を求めたりする技能を身に付けるようにする。	比例や反比例の関係，比について理解するとともに，伴って変わる二つの数量を見だし，それらの関係について表や式を用いて表現したり，目的に応じて比で処理したりする方法についての技能を身に付けるようにする。	量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法を理解するとともに，それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。
	思考力, 表現力, 判断力等	数とその表現や計算の意味に着目し，発展的に考察して問題を見いだしたり，目的に応じて多様な表現方法を用いながら，数の表し方や計算の仕方などを考察したりするとともに，数量の関係を簡潔かつ一般的に表現する力を養う。	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し，構成の仕方を考察したり，図形の性質を見いだしたりするとともに，円の面積や立方体，直方体，角柱，円柱の体積の求め方を考え，その表現を振り返り，簡潔かつ的確な表現に高め，公式として導く力を養う。	伴って変わる二つの数量の関係に着目し，目的に応じて表や式，グラフを用いて変化や対応の特徴を考察したり，比例の関係を前提に二つの数量の関係を考察したりする力を養う。	目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して，表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題解決したり，解決の過程や結果を批判的に捉え考察したりする力を養う。
	学びに向かう力, 人間性等	数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

時期	単元名（Ⅱ時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
1学期	「分数と小数,整数の関係」(2)	・整数及び小数を分数の形に直したり,分数を小数で表したりする。 ・分数の相等及び大小について知り,大小を比べることができる。	・くらしに役立つ 数学p.12,13 ・くらしに役立つワーク数学p14,15 ・学習プリント ・タブレット	A 数と計算 <u>イ(ア)㉔・㉕</u>
	「分数のたし算・ひき算」(4)	・異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 ・分数の意味や表現に着目し,計算の仕方を考えることができる。		A 数と計算 <u>ウ(ア)㉔</u> <u>ウ(イ)㉔</u>
	「分数のかけ算・わり算」(4)	・乗数や除数が整数や分数である場合も含めて,分数の乗法及び除法の意味について理解する。 ・分数の乗法及び除法の計算ができる。 ・分数の乗法及び除法についても,整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解することができる。 ・数の意味と表現,計算について成り立つ性質に着目し,計算の仕方を多面的に捉え考えることができる。	・学習プリント ・タブレット	A 数と計算 <u>エ(ア)㉔・㉕・㉖</u> <u>エ(イ)㉔</u>
	「数量やその関係を式で表そう」(2)	・数量を表す言葉や□,△などの代わりに,a, xなどの文字を用いて式に表したり,文字に数を当てはめて調べたりすることができる。 ・問題場面の数量の関係に着目し,数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり,式の意味を読み取ったりすることができる。	・学習プリント ・タブレット	A 数と計算 <u>オ(ア)㉔</u> <u>オ(イ)㉔</u>
2学期	「およその面積を求めよう」(3) 「円の面積の求め方を考えよう」(3)	・身の回りにある形について,その概形を捉え,およその面積などを求めることができる。 ・図形を構成する要素や性質に着目し,筋道を立てて面積などの求め方を考え,それを日常生活に活かすことができる。 ・円の面積の計算による求め方について理解する。 ・図形を構成する要素や性質に着目し,基本図形の面積の求め方を見いだすとともに,その表現を振り返り,簡潔かつ的確な表現に高め,公式として導くことができる。	・くらしに役立つ 数学p.28, 39, 40 ・くらしに役立つワーク数学p39－43 ・学習プリント ・タブレット ・計算機	B 図形 <u>イ(ア)㉔</u> <u>イ(イ)㉔</u> <u>ウ(ア)㉔</u> <u>ウ(イ)㉔</u>

3 学 期	「直方体と立方体のか さの表し方を考えよう」 (5)	・体積の単位(立法センチメートル(cm³),立方メートル(m³))について理解することができる。 ・立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解することができる。 ・基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解することができる。 ・体積の単位や図形を構成する要素に着目し,図形の体積の求め方を考えるとともに,体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察することができる。 ・図形を構成する要素に着目し,基本図形の体積の求め方を見いだすとともに,その表現を振り返り,簡潔かつ的確な表現に高め,公式として導くことができる。	・学習プリント ・タブレット ・計算機 ・くらしに役立つ数学p.36－38, 47 ・くらしに役立つワーク数学p39, 40	B 図形 <u>エ(ア)㊦・㊧・</u> <u>エ(イ)㊦・㊧</u>
	「比例の関係をくわしく 調べよう」(4)	・比例の関係の意味や性質を理解する。 ・比例の関係をを用いた問題解決の方法について理解する。 ・反比例の関係について理解する。 ・伴って変わる二つの数量を見いだして,それらの関係に着目し,目的に応じて表や式,グラフを用いてそれらの関係を表現して,変化や対応の特徴を見いだすとともに,それらを日常生活に生かすことができる。	・くらしに役立つ 数学 p.57－58 ・くらしに役立つワーク数学p30, 31 ・学習プリント ・タブレット	C 変化と関係 <u>ア(ア)㊦・㊧・㊨</u>
	「割合の表し方を調べ よう」(5)	・比の意味や表し方を理解し,数量の関係を比で表したり,等しい比をつくったりすることができる。 ・日常事象における数量の関係に着目し,図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し,それを日常に生かすことができる。	・くらしに役立つ 数学 p.55, 56 ・くらしに役立つワーク数学p28, 29 ・学習プリント ・タブレット ・計算機	C 変化と関係 <u>イ(ア)㊦</u> <u>イ(イ)㊦</u>
	「順序良く整理して調べ よう」(3)	・起こり得る場合を順序良く整理するための図や表などの用い方を理解する。 ・事象の特徴に着目し,順序よく整理する観点を決めて,落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。	・くらしに役立つ 数学 p.53, 54 p. 64-146 ・くらしに役立つワーク数学p54-96 ・学習プリント ・タブレット ・計算機	D データの活用 <u>イ(ア)㊦</u> <u>イ(イ)㊦</u>